

両生類、魚類及び産業用家畜を使用する動物実験計画に関する動物実験委員会の申し合わせ事項

平成 26 年 3 月 26 日 動物実験委員会承認

改正 平成 29 年 9 月 28 日 一部改正

広島大学動物実験等規規則第 41 条において飼養保管基準の趣旨を準用する同規則第 4 条第 2 号に規定する実験動物以外の動物及び同規則第 43 条において規則を適用しない産業用家畜とみなされる実験動物を使用する次の動物実験計画について、これまで動物実験委員会において検討した事項等を以下の申し合わせ事項として取りまとめる。

- (1) 哺乳類、鳥類及び爬虫類に属する実験動物以外の動物のうち両生類及び魚類に係る動物実験計画
- (2) 産業用家畜とみなされる実験動物への処置等に係る動物実験計画

なお、この申し合わせ事項のほか、両生類、魚類及び産業用家畜を使用する動物実験計画に関して必要な事項は動物実験委員会が定める。

○ 哺乳類、鳥類及び爬虫類に属する実験動物以外の動物のうち両生類及び魚類に係る動物実験計画の申し合わせ事項

1. 一般的事項

- ①法令、指針等によって当該動物に関して具体的な取扱いが定められるまでの間、動物実験委員会において必要な事項を定め運用する。
- ②動物の愛護及び管理に関する法律、飼養保管基準、基本指針の趣旨に沿った運用を図るとともに、必要な事項について広島大学動物実験等規則を準用する。
- ③法的規制がないことから全てを基準化するのではなく、必要最小限のことを定める。
- ④動物種によって大きく生態が異なり、画一的な判断が困難であるため、動物種に応じた運用をする。

2. 審査関係

- ①審査の対象は、動物実験計画の審査が必要な案件として申請のあった動物実験計画とする。(全ての案件が審査対象ではない。)
- ②動物実験委員会の東広島地区審査部会において審査する。
- ③審査部会に関して必要な事項は、「広島大学動物実験委員会に置く審査部会の取扱い」にて定める。
- ④審査に必要な書類は、3①により作成した動物実験計画書及び 4②により作成した飼養保管施設チェックシートとし、必要に応じて参考となるものを添付する。

3. 動物実験計画関係

- ①動物実験計画書の作成要領は、次のとおりとする。(別紙 1、別紙 2)
 - (1) 広島大学動物実験等規則に定める別記様式第 1 号「動物実験計画書」を使用すること。

- (2)動物実験計画書Aブロックは全て記入する。
- (3)動物実験計画書Bブロック「1 実験全体で使用する動物の必要数」、「2 算出根拠」は未記入で差し支えないが、それ以外は記入する。
- (4)動物実験計画書Cブロック「使用動物」の「品質・系統」、「性別」、「質」、「体重・年齢」、「匹数」、「入手先」、「遺伝学的保証」、「微生物学的保証」については未記入で差し支えない、「飼養場所」・「実験実施場所」の「承認番号」は未記入とし、これら以外は記入する。

4. 施設関係

- ①飼養場所、実験実施場所の施設設置申請・承認は行わない。
- ②飼養場所、実験実施場所については、動物実験計画の申請の都度、動物実験委員会審査部会が現場確認する。その際、飼養保管施設チェックシートを作成し、シートの所定の項目（黄色の欄）を確認する。（別紙3、別紙4）

5. 教育訓練関係

- ①動物実験計画を申請する場合は、動物実験委員会が開催する教育訓練の受講は必須とする。（実験責任者を含む動物実験実施者全員が対象）

6. その他

- ①承認番号は、次のとおりとする。
 - (1)両生類 G〇〇(西暦年度の下2桁)ー〇(通し番号)
 - (2)魚類 F〇〇(西暦年度の下2桁)ー〇(通し番号)

○ 産業用家畜とみなされる実験動物への処置等に係る動物実験計画の申し合わせ事項

1. 一般的事項

- ①外科的処置、サンプリングの処置等の3Rを考慮しなければならない研究、教育、実習等については、広島大学動物実験等規則を準用する。
また、産業動物の飼養保管については産業動物の飼養及び保管に関する基準（昭和62年総理府告示第22号）、生態の観察については家庭動物等の飼養及び保管に関する基準（平成14年環境省告示第37号）に準じて行うこと。

2. 審査関係

- ①審査の対象は、外科的処置、サンプリングの処置等の3Rを考慮しなければならない研究、教育、実習等の動物実験計画とし、それ以外の動物実験計画の審査が必要な案件として申請のあったものについても審査の対象とすることができる。
- ②動物実験委員会の東広島地区審査部会において審査する。
- ③審査部会に関して必要な事項は、「広島大学動物実験委員会に置く審査部会の取扱い」にて定める。

3. 動物実験計画関係

- ①申請者からの事前相談を東広島地区審査部会長が実施することとし、当該実験計画

が産業飼育に該当するか否かの判断を行う。産業飼育に該当すれば、通常の動物実験計画書との区別を容易にするため、動物実験計画書 1 枚目の上部に「畜産」と記載する。

②動物実験計画書の作成要領は、次のとおりとする。(別紙 5)

- (1) 広島大学動物実験等規則に定める別記様式第 1 号「動物実験計画書」を使用すること。
- (2) 基本的に動物実験計画書の各ブロックは全て記入する。
- (3) 動物実験計画書 B ブロック「実験計画と方法」の内容欄に産業用家畜の飼養現場を使用する必要性を加える。
- (4) 動物実験計画書 C ブロック「飼養保管施設名」、「実験室名」は「瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター(農場)」と記入する。ただし、承認番号は未記入とする。
- (5) 動物実験計画書 D ブロック「実験計画の補足説明」に産業用家畜へサンプリング等の処置をしなければならない理由を記入する。

4. 施設関係

- ①飼養場所、実験実施場所の施設設置申請・承認は行わない。

5. 教育訓練関係

- ①動物実験計画を申請する場合は、動物実験委員会が開催する教育訓練の受講は必須とする。(実験責任者を含む動物実験実施者全員が対象)

6. その他

- ①承認番号は、E〇〇(西暦年度の下 2 桁)ー〇(通し番号)とする。

別紙1 動物実験計画書 (両生類)

別記様式第1号(第16条関係)

動物実験計画書

広島大学長 殿

提出日：平成 年 月 日
受取日：平成 年 月 日

A

□ 研究用	□ 変更	承認番号：()
所 属	職名・身分	
氏 名	登録番号	
TEL:	E-mail:	
連絡先	職 名	
所 属	職 名	
氏 名	職名・身分	
TEL:	登録番号	
連絡先	職名・身分	
所 属	職名・身分	
氏 名	登録番号	
TEL:	E-mail:	
連絡先	職名・身分	
所 属	職名・身分	
氏 名	登録番号	
TEL:	E-mail:	
連絡先	職名・身分	
所 属	職名・身分	
氏 名	登録番号	
TEL:	E-mail:	
連絡先	職名・身分	

B

研究課題名 又は 授業科目名	開示の可否	□ 1 全面開示	□ 2 部分開示
和文			
英文			
実験目的	開示の可否	□ 1 全面開示	□ 2 部分開示
	開示の可否	□ 1 全面開示	□ 2 部分開示
	開示の可否	□ 1 全面開示	□ 2 部分開示
実験の種類	□ 1 材料の採取	□ 2 薬剤等の投与	□ 3 外科的処置
	□ 4 系統維持・繁殖	□ 5 行動観察	
(内容)	□ 6 その他()		
実験計画と方法	1 実験全体で使用する動物の必要数(未記入で差し支えない) 2 算出根拠(未記入で差し支えない)		

C

実験実施期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日(変更後の開始時期:平成 年 月 日から)
動物種	品種・系統 性別 質 体重・齢 匹数 入手先
使用動物	遺伝的保証 □ 1 有 □ 2 無 未記入で差し支えない 微生物学的保証 □ 1 有 □ 2 無 未記入で差し支えない
飼養場所	飼養設備施設名: 実験動物管理者: 承認番号: 未記入
実験実施場所	飼居等名: 実験室名: 承認番号: 未記入
動物実験が必要な理由	□ 1 代替手段がない □ 2 代替手段の精度が不十分 □ 3 代替手段の経費が過大 □ 4 その他()
安全管理上注意を要する点	□ 感染実験 □ 遺伝子組換え動物使用実験 □ BSL1 □ BSL2 □ BSL3 □ 放射性同位元素放射線使用実験 (承認年月日:) □ P1A □ P2A □ P3A □ 有害物質 □ その他
想定される苦痛の区分(注 動物実験における実験処置に対する倫理基準分類参照)	A.生きた動物を用いない実験 B.動物に対してほとんど不快を与えないと思われる実験 C.動物に対して軽微なストレスや痛みを伴う実験 D.避けることのできない重度のストレスや痛みを伴う実験 E.麻酔していない意識のある動物を用いて動物が耐えることのできる最大に近い痛み又はそれ以上の痛みを与えるような実験(基本的に承認されない。)
動物の苦痛の種類と軽減法	□ 1 動物の摂餌・歩行などの状態から軽微な苦痛の範囲内で、特に処置を講じる必要はない。 □ 2 麻酔薬や鎮痛剤などの薬剤を投与する。 薬剤名・投与量・投与方法 (1) (2) □ 3 短時間の保定・拘束のため、特に問題はない。 □ 4 実験の都合上やむを得ず24時間以上の保定・拘束をする。 □ 5 重度のストレスや疼痛を伴うが、苦痛の軽減方法がない。 □ 6 その他()
安楽死の方法(複数回答可)	□ 1 麻酔薬の投与及び吸入 薬剤名() □ 2 凶酸ガス □ 3 頸椎脱臼・断頭(深麻酔と併用すること。) □ 4 その他()
実験終了後の動物の処置	□ 1 大字内で焼却(場所:) □ 2 外部業者に委託 □ 3 その他(具体的に記入:)
実験計画の補足説明	□ 1.なし □ 2.あり (別紙添付)
承認番号: G○○(西暦の下2桁)ー○○(通し番号)	
承認年月日: 平成 年 月 日	
(有効期限: 平成 年 月 日)	
審査部長又は委員長	印
動物実験委員会による検討結果	
動物実験委員会審査部の意見	

D

E

別紙2 動物実験計画書 (魚類)

別記様式第1号(第16条関係)

動物実験計画書

広島大学長 殿

提出日：平成 年 月 日
受取日：平成 年 月 日

A

<input type="checkbox"/> 研究用	<input type="checkbox"/> 教育用	<input type="checkbox"/> 変更	<input type="checkbox"/> 承認番号：_____	承認年月日：_____
実験責任者	所属 氏名	TEL:	印	職名・身分 登録番号
飼養経費等負担者	所属 氏名	TEL:	印	職名 登録番号
動物実験実施者 (全員記入)	所属 氏名	TEL:	E-mail:	職名・身分 登録番号
	所属 氏名	TEL:	E-mail:	職名・身分 登録番号
	所属 氏名	TEL:	E-mail:	職名・身分 登録番号
	所属 氏名	TEL:	E-mail:	職名・身分 登録番号
	所属 氏名	TEL:	E-mail:	職名・身分 登録番号
	所属 氏名	TEL:	E-mail:	職名・身分 登録番号

B

研究課題名 又は 授業科目名 英文	開示の可否	<input type="checkbox"/> 1 全面開示	<input type="checkbox"/> 2 部分開示
実験目的	開示の可否	<input type="checkbox"/> 1 全面開示	<input type="checkbox"/> 2 部分開示
実験計画と方法 (内容)	開示の可否	<input type="checkbox"/> 1 全面開示	<input type="checkbox"/> 2 部分開示
	実験の種類	<input type="checkbox"/> 1 材料の採取	<input type="checkbox"/> 2 薬剤等の投与
		<input type="checkbox"/> 3 系統維持・繁殖	<input type="checkbox"/> 4 行動観察
		<input type="checkbox"/> 5 外科的処置	<input type="checkbox"/> 6 その他()

C

実験実施期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日(変更後の開始時期:平成 年 月 日から)
動物	品種・系統 性別 質 体重・齢 匹数 入手先
使用動物	<input type="checkbox"/> 1 有 <input type="checkbox"/> 2 無 <input type="checkbox"/> 1 有 <input type="checkbox"/> 2 無 <input type="checkbox"/> 1 有 <input type="checkbox"/> 2 無 <input type="checkbox"/> 1 有 <input type="checkbox"/> 2 無 <input type="checkbox"/> 1 有 <input type="checkbox"/> 2 無
飼養場所	飼養設備施設名: _____ 飼居等名: _____ 実験室名: _____
実験実施場所	実験動物管理者: _____ 承認番号: _____
動物実験が 必要な理由	<input type="checkbox"/> 1 代替手段がない <input type="checkbox"/> 2 代替手段の精度が不十分 <input type="checkbox"/> 3 代替手段の経費が過大 <input type="checkbox"/> 4 その他()
安全管理上注意 を要する点	<input type="checkbox"/> 1 無 <input type="checkbox"/> 2 有 <input type="checkbox"/> 3 有 <input type="checkbox"/> 4 有 <input type="checkbox"/> 5 有 <input type="checkbox"/> 6 有
想定される 苦痛の区分 (注 動物実験 における実験 処置に対する 倫理基準分類 参照)	A.生きた動物を用いない実験 B.動物に対してほとんど不快を与えないと思われる実験 C.動物に対して軽微なストレスや痛みを伴う実験 D.避けることのできない重度のストレスや痛みを伴う実験 E.麻酔していない意識のある動物を用いて動物が耐えることのできる最大に近い痛み 又はそれ以上の痛みを与えるような実験(基本的に承認されない。)
動物の苦痛の 種類と軽減法	<input type="checkbox"/> 1 動物の摂餌・歩行などの状態から軽微な苦痛の範囲内で、特に処置を講じる必要はない。 <input type="checkbox"/> 2 麻酔薬や鎮痛剤などの薬剤を投与する。 薬剤名・投与量・投与方法 (1) _____ (2) _____ <input type="checkbox"/> 3 短時間の保定・拘束のため、特に問題はない。 <input type="checkbox"/> 4 実験の都合上やむを得ず24時間以上の保定・拘束をする。 <input type="checkbox"/> 5 重度のストレスや疼痛を伴うが、苦痛の軽減方法がない。 <input type="checkbox"/> 6 その他()
安楽死の方法 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 1 麻酔薬の投与及び吸入 薬剤名() <input type="checkbox"/> 2 気酸ガス <input type="checkbox"/> 3 頸椎脱臼・断頭(深麻酔と併用すること。) <input type="checkbox"/> 4 その他()
実験終了後の 動物の処置	<input type="checkbox"/> 1 大字内で焼却(場所: <input type="checkbox"/> 2 外部業者に委託 <input type="checkbox"/> 3 その他(具体的に記入: _____)

D

実験計画の補足説明	<input type="checkbox"/> 1.なし <input type="checkbox"/> 2.あり (別紙添付)
-----------	--

E

動物実験委員会 による検討結果	承認番号: _____ 承認年月日: 平成 年 月 日 (有効期限: 平成 年 月 日まで)
動物実験委員会 審査部会の意見	審査部会長又は委員長 _____ 印

F○○(西暦の下2桁)ー○(通し番号)

別紙3 飼養保管施設チェックシート（両生類）

飼養保管施設チェックシート（両生類：カエル）

調査日 年 月 日

賞

動物種

調査項目	判定	備考
構造		
飼育室		
床	良・否	防水性や耐薬品性など
壁	良・否	腫瘍等の可能性がある突起・亀裂など
天井	良・否	防水性や耐薬品性など
照明器具	良・否	防水性や耐薬品性など
遮光	有・無	窓などの有無 (有が望ましい)
	有・無	遮光対策の有無
環境		
温度	有・無	遮光の方法
	良・否	設備の有無
	良・否	正常に動作しているか
	℃	設定値 (種によって設定)
湿度	有・無	モニタリング方法
	良・否	正常に動作しているか
	%	設定値
換気	有・無	モニタリング方法
	良・否	設備の有無
	良・否	正常に動作しているか
照明	有・無	種類 (蛍光灯・LEDなど)
	時間	照度時間 (調整機能の有無)
	時間	点灯時間 (急がある場合は時間調整不要、暗さを点灯する機会、点灯時間の記録作成は不要)
出入口	有・無	遮断 (逃亡防止柵・二重扉など)
逃走防止	有・無	逃亡防止柵などの有無
衛生配管	有・無	床排水や流し台などの有無
	有・無	排水口などある場合の対策 (網の取付けなど)
その他	有・無	排水口などの開口部の有無
	有・無	開口部がある場合の対策 (網の取付けなど)

調査項目	判定	備考
飼育器材		
ラック・ケージ		
既製品		
型式		
数量		
既製品以外	良・否	動物種に応じた逃亡防止の構造と強度がある (フタやフタの重しなど)
	良・否	容易に揺揺・揺水ができる
	良・否	容易に排水・排糞ができる
	良・否	自然な姿勢が維持できること
	良・否	実験動物が障害を受けない構造であること
	良・否	洗浄・消毒・滅菌などが容易な構造で、それに耐える強度を有すること
衛生		
洗浄	有・無	飼育器材などに準じた流し台などの有無
滅菌	有・無	洗浄器具などの有無 (ブラシやスプレーなど)
臭気防止策	有・無	オートクレープなどの滅菌設備の有無
騒音防止策	有・無	消音などの有無
廃棄物の処理	有・無	屋外排気や脱臭装置の有無
	有・無	屋外排気の場合、周辺への影響の有無
	有・無	機械的動作や動物の鳴き声への対策の有無
	有・無	動物死体 保管設備の有無
	有・無	廃棄の方法 (業者委託・焼却など)
	有・無	他の廃棄 廃棄設備の有無
	有・無	廃棄の方法 (業者委託・焼却など)

調査項目	判定	備考
標準操作手順書の他		
事務関係		
飼育関係		
衛生関係		
保守点検関係		
その他		
判断基準		
手順書の添付		
記録・保存書類		
安全管理		
その他		

調査項目	判定	備考
利用者の登録手順	有・無	
動物搬出入手続きの手順	有・無	
関係書類の保存・廃棄手順	有・無	
給餌・給水・床敷交換などの手順	有・無	
飼育動物の状況確認	有・無	
入退室の手順	有・無	
飼育器材の洗浄・消毒・滅菌の手順	有・無	
死体の保管と廃棄の手順	有・無	
床敷などの保管と廃棄の手順	有・無	
感染性廃棄物などの保管と廃棄の手順	有・無	
飼育室の清掃消毒などの手順	有・無	
設備・機器の保守点検の手順	有・無	
故障時の対応手順	有・無	
動物逃走防止対策の点検の手順	有・無	
動物逃走時の対応手順	有・無	
咬傷などの事故発生時の対応手順	有・無	
地震・火災などの対応手順	有・無	
飼養保管施設設置等承認申請書の判断基準の添付	有・無	
標準操作手順書の飼養保管施設への配備	有・無	
導入時の検疫などに関する書類	有・無	
入手先、飼育履歴、病歴など関する書類	有・無	
輸送に関する書類	有・無	
利用者の入退室管理方法	有・無	
人畜共通感染症などに罹患した際に診療を行う医師及び健康管理への連絡体制 (連絡網等) の作成と配備	有・無	
咬傷等の事故発生時に必要な医薬品類の配備	有・無	
地震・火災などの緊急時にとるべき措置に関する計画書類 (連絡網等) の作成と配備	有・無	
施設の実情に応じた必要事項		

調査項目	判定	備考
調査委員名と意見		

別紙4 飼養保管施設チェックシート (魚類)

飼養保管施設チェックシート (魚類)		動物種		質					
調査日	年月日	判定	備考						
飼養保管施設	構造	床	防水性や耐薬品性など	有・無	備考				
			壁	防水性や耐薬品性など		有・無			
			天井	防水性や耐薬品性など		有・無			
			照明器具	防水性や耐薬品性など		有・無			
			遮光	遮光対策の有無		有・無			
			環境	温度		設定値	有・無		
				湿度		設定値	有・無		
				換気		設定値	有・無		
			逸走防止	出入口		有・無	有・無		
				衛生配管		有・無	有・無		
			飼養器材	ラック・ケージ		既製品	メーカ	有・無	
							型式	有・無	
							数量	有・無	
							既製品以外	動物種に応じた逃に防止の構造と強度	有・無
								容易に掛鉤・排水ができる	有・無
								容易に排水・排糞ができる	有・無
								自然な姿勢が維持できること	有・無
							衛生	洗浄・消毒・滅菌などの容易な構造	有・無
								で、それに耐える強度を有すること	有・無
減菌	飼養器材などに選んだ濾し台などの有無	オートクレーブなどの滅菌設備の有無			有・無				
		消毒薬などの有無			有・無				
		屋外排気や脱臭装置の有無			有・無				
		屋外排気の場合、扇風機への影射の有無			有・無				
		機械作動音や動物の鳴き声への対策の有無			有・無				
		動物死体			保管設備の有無		有・無		
		廃棄物の処理			廃棄の方法 (業者委託・陸却など)		有・無		
					他の廃棄		保管設備の有無	有・無	
					廃棄の方法 (業者委託・陸却など)		有・無		

調査項目	判定	備考
事務関係	有・無	
飼育関係	有・無	
衛生関係	有・無	
その他	利用者の登録手順	有・無
	動物搬出入手続きの手順	有・無
	関係書類の保存・廃棄手順	有・無
	給餌・給水・床敷交換などの手順	有・無
	飼育動物の状況確認	有・無
	入退室の手順	有・無
	飼育器材の洗浄・消毒・滅菌の手順	有・無
	死体の保管と廃棄の手順	有・無
	床敷などの保管と廃棄の手順	有・無
	感染性廃棄物などの保管と廃棄の手順	有・無
	飼育室の清掃消毒などの手順	有・無
	設備・機器の保守点検の手順	有・無
	故障時の対応手順	有・無
	動物逸走防止対策の点検の手順	有・無
	動物逸走時の対応手順	有・無
	地震・火災などの対応手順	有・無
	飼養保管施設設置等承認申請書の判断の添付	有・無
	標準操作手順書の飼養保管施設への配備	有・無
	記録・保存書類	有・無
導入時の検査などに関する書類	有・無	
入手先、飼育履歴、病歴などに関する書類	有・無	
輸送に関する書類	有・無	
安全管理	有・無	
その他	利用者の入退室管理方法	有・無
	人畜共通感染症などに罹患した際に診療を行う医師及び健康管理への連絡体制 (連絡網等) の作成と配備	有・無
	咬傷等の事故発生時に必要な医薬品類の配備	有・無
その他	地震、火災などの緊急時にとるべき措置に関する計画書類 (連絡網等) の作成と配備	有・無
	施設の事情に応じた必要事項	有・無

調査結果
飼養委員と意見

別紙 5 動物実験計画書 (産業用家畜)

上部に「畜産」の表示を記載する

別記様式第1号(第16条関係)

動物実験計画書

広島大学長 殿

提出日：平成 年 月 日
受取日：平成 年 月 日

A

研究用 教育用 変更 (承認番号:) , 承認年月日:)

新規

実験責任者	所属	職名・身分	登録番号
	氏名	印	E-mail:
	連絡先		
飼養経費等負担者	所属	職名	登録番号
	氏名	印	E-mail:
	連絡先		
動物実験実施者 (全員記入)	所属	職名・身分	登録番号
	氏名	印	E-mail:
	連絡先		
	所属	職名・身分	登録番号
	氏名	印	E-mail:
	連絡先		

B

開示の可否 1 全面開示 2 部分開示

研究課題名 和文

授業科目名 英文

開示の可否 1 全面開示 2 部分開示

開示の可否 1 全面開示 2 部分開示

実験の種類 1 材料の採取 2 薬剤等の投与 3 外科的処置

4 系続維持・繁殖 5 行動観察

6 その他()

(内容)

実験計画と方法

産業用家畜の飼養現場を使用する必要性を加えて記載

1 実験全体で使用する動物の必要数()

2 算出根拠()

C

実験実施期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (変更後の開始時期: 平成 年 月 日から)	動物種	品種・系統	性別	質	体重・齢	匹数	入手先
使用動物	遺伝的保証 <input type="checkbox"/> 1 有 <input type="checkbox"/> 2 無	微生物学的保証 <input type="checkbox"/> 1 有 <input type="checkbox"/> 2 無	飼養場所	飼養管理施設名:	飼養管理施設名:	飼養管理施設名:	飼養管理施設名:	飼養管理施設名:
実験実施場所	実験室名:	実験室名:	実験室名:	実験室名:	実験室名:	実験室名:	実験室名:	実験室名:
動物実験が必要な理由	<input type="checkbox"/> 1 代替手段がない <input type="checkbox"/> 2 代替手段の精度が不十分 <input type="checkbox"/> 3 代替手段の経費が過大 <input type="checkbox"/> 4 その他()	代替手段:	代替手段:	代替手段:	代替手段:	代替手段:	代替手段:	代替手段:
安全管理上注意を要する点	<input type="checkbox"/> 1 無 <input type="checkbox"/> 2 有 <input type="checkbox"/> 3 有害性 <input type="checkbox"/> 4 注意点	感染実験 <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3	遺伝子組換え動物使用実験 <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A	放射線照射使用実験 <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A	有害物質 <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A	その他 <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A	その他 <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A	その他 <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A
想定される苦痛の区分 (注) 動物実験における実験処置に対する倫理基準分類参照)	<input type="checkbox"/> A 生きた動物を用いない実験 <input type="checkbox"/> B 動物に対してほとんど不快を与えないと思われる実験 <input type="checkbox"/> C 動物に対して軽微なストレス又は短時間持続する痛みを伴う実験 <input type="checkbox"/> D 避けることのできない重度のストレスや痛みを伴う実験 <input type="checkbox"/> E 麻酔していない意識のある動物を用いて動物が耐えることのできる最大に近い痛み又はそれ以上の痛みを与えるような実験 (基本的に承認されない)	動物の摂餌・歩行などの状態から軽微な苦痛の範囲内で、特に処置を講じる必要はない。	麻酔薬や鎮痛剤などの薬剤を投与する。	薬剤名・投与量・投与方法	薬剤名・投与量・投与方法	薬剤名・投与量・投与方法	薬剤名・投与量・投与方法	薬剤名・投与量・投与方法
動物の苦痛の種類と軽減法	<input type="checkbox"/> 1 麻酔薬の投与及び吸入 <input type="checkbox"/> 2 成酸ガス <input type="checkbox"/> 3 類推脱臼・断頭 (深麻酔と併用すること。) <input type="checkbox"/> 4 その他()	天字内で焼却 (場所:)	外部業者委託	外部業者委託	外部業者委託	外部業者委託	外部業者委託	外部業者委託
安楽死の方法 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 1 天字内で焼却 (場所:) <input type="checkbox"/> 2 外部業者委託 <input type="checkbox"/> 3 その他 (具体的に記入:)	天字内で焼却 (場所:)	外部業者委託	外部業者委託	外部業者委託	外部業者委託	外部業者委託	外部業者委託
実験計画の補足説明	<input type="checkbox"/> 1 なし <input type="checkbox"/> 2 あり (別紙添付)	天字内で焼却 (場所:)	外部業者委託	外部業者委託	外部業者委託	外部業者委託	外部業者委託	外部業者委託

D

承認番号: E○○(西暦の下2桁)ー○○(通し番号)

承認年月日: 平成 年 月 日

有効期限: 平成 年 月 日

審査部長又は委員長 印

E